

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1) 施設名	さいたま市地域中核施設ブラザースト
(2) 施設概要	①所在地 さいたま市緑区中尾1440番8 ②施設の設置目的 ホール、多目的ルーム、展示室、映像シアター、音楽スタジオ、フィットネスルーム、和室、セミナールーム、キッチンスタジオ、アトリエがあり、地域に密着した文化活動や生涯学習等の様々な活動に幅広く対応し、地域の活動拠点となる複合施設 ③施設の概要 文化・芸術・レクリエーション等の活動の場として地域の拠点となる複合施設 ●東浦和図書館 ●ホール(402席) ●多目的ルーム ●展示室(2室) ●映像シアター ●リハーサル室(3室) ●音楽スタジオ ●フィットネスルーム ●和室(3室) ●茶室 ●会議室(7室) ●パソコンルーム ●キッチンスタジオ ●アトリエ絵画・造形・陶芸・映像 ●駐車場(123台) 等
(3) 指定管理者	公益財団法人さいたま市文化振興事業団
(4) 指定期間、指定管理料	①指定期間 令和3年4月1日～令和8年3月31日 ②指定管理料(直近3か年) 令和5年度230,483千円、令和6年度230,365千円、令和7年度244,187千円
(5) 施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 133,658人(前年度 133,409人) ・利用率 61.5%(前年度 60.5%) ・稼働率 41.0%(前年度 39.7%) ◇業務実施状況 ・施設の利用許可、使用料の徴収・還付 ・施設、附属設備等の維持管理 ・文化芸術事業の実施 ②維持管理業務の状況 ・施設管理業務(設備・警備・清掃)[毎日] ・機械警備業務[毎日] ・舞台管理業務[毎日(原則休館日を除く)] ・自家用電気工作物保安管理業務[毎月] ・空調機保守点検業務[年2回] ・消防設備保守点検業務[年2回] ・一般廃棄物収集運搬処理業務[毎週] ・廃棄物収集運搬処理業務[年4回] ・エレベーター保守点検業務[現場点検年4回] ・灌水システム保守点検業務[年1回] ・舞台機構設備保守点検業務[年2回] ・舞台音響設備保守点検業務[年1回] ・舞台照明設備保守点検業務[年1回] ・映写設備保守点検業務[年1回] ・電動ロールスクリーン保守点検[年1回] ・電話交換設備保守点検[年2回] ・駐車場管制装置保守点検業務[年2回] ・植栽管理業務[年3回] ・ベーゼンドルファーピアノ保守業務[年1回] ・ヤマハピアノ保守業務[年2回] ・建築設備定期検査業務[年1回] ・特定建築物等定期点検[1回/3年] ③その他の業務 「さいたま市民の日記念事業 ふらっとコンサート」「劇団Liebe公演 グリムの音楽隊」「ミモザコンサート」「兄ーズ Piano Magical Land」など、主催34事業、共催5事業の計39事業を開催した。

(6)収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	0千円	(0千円)	人件費	75,580千円	(74,984千円)
	指定管理料	244,187千円	(230,365千円)	事務費	1,805千円	(1,813千円)
	文化事業収入	8,949千円	(10,686千円)	施設管理費	146,316千円	(147,698千円)
	その他収入	362千円	(463千円)	事業費	15,394千円	(16,886千円)
	【自主事業】					
	収入	46千円	(14千円)	支出	22千円	(22千円)
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	「施設の机の配置や附属設備について、分かりやすくしてほしい」との要望から、利用施設の廊下に、机の配置や使用できる備品等を配置図をつけて掲示した。					
(8)その他	日本大学法学部から開催場所提供の要望があり、学生とペアになって、館内を写真に撮りながらスマホの使い方をまなぶ「ふおさんぼ」に協働し、世代間交流の場を提供した。					

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
管理運営体制、緊急時の対応	・「危機管理ガイド・マニュアル」に基づき、危機管理体制の強化に努めた。 ・「個人情報保護規程」および「個人情報保護方針」に従い、個人情報の適切な保護と遵守を努めた。 ・消防訓練のほかに警察者の協力の下、さす又を使用した不審者対応訓練を実施し、緊急時の対応強化に努めた。 ・管理業務が適切に行えているかを客観的に把握するため「利用者アンケート」を実施した。 ・緊急時の安否確認を迅速に行うため、Teamsを活用した迅速な連絡体制の強化に努めた。
広報・利用促進計画	・事業団情報誌「SaCLa」を効果的に活用し、地域タウン誌等に施設情報記事を掲載することで、広報宣伝の充実に努めた。 ・主催事業のチラシ等を各公共施設(公民館等)や緑区内の各自治会へ配布依頼し、市民の方に事業の宣伝と利用促進に努めた。 ・エントランスホールに催し物専用のイーゼルを設置し、来館者に自館で開催されるイベントの情報を積極的に宣伝した。 ・緑区役所のデジタルサイネージを活用し主催事業の広報宣伝の強化を図った。
利用支援計画 (サービスの向上)	・「アドバンスBOX(ご意見箱)」や「利用者アンケート」を活用し、施設に来館する方の要望や意見を施設管理及び運営に反映させるよう努めた。 ・事業参加者に「アンケート」を実施し、普段利用されない一般の方のニーズや意見を調査し、主催事業の実施や展開に反映させるよう努めた。 ・「職員研修要綱」に基づき、「クレーム対応研修」や多種多様な研修に参加し、研修で得た知識を職員間でフィードバックすることで業務の効率化やサービスの向上に努めた。 ・2階東側共有スペースを積極的に開放し、猛暑における休憩スペースや地域学生、高齢者の憩いの場として利用の促進を図った。
文化事業計画	・世代別に参加できる市民参加型事業のプログラムを実施し、多世代が楽しめる芸術鑑賞イベントや地域との連携を強化した事業を展開した。 ・NPO法人と事業を企画し、子どもの居場所づくりに向けた、子どもが主体となる事業を開催した。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

- 「市民の平等利用」……………さいたま市コミュニティ施設条例・施行規則その他関係法令を遵守し、さいたま市の代行者としての自覚を持ち、市民の平等かつ公平な利用提供に努めた。
- 「市民サービスの向上」………施設使用料金の還付制度や予約システムに関して、市民の方により良くとご利用いただけるよう細やかな説明と、親しみやすい施設となるための環境整備に努めた。
「アドバンスBOX」や「アンケート」から得た意見・要望を幅広く取り入れ、所管課と連携し、対応策を検討し市民サービスの向上に努めた。
- 「利用促進」……………幅広い年齢層の方に気軽にご参加いただける講座をはじめとした市民参加型事業や、主にホールを使用した文化芸術鑑賞事業を開催し、施設利用の向上を目指すとともに、自館にて発行している情報誌「East Navi」や文化事業チラシを作成し、公共施設・公民館・自治会に配布し広報宣伝に努めた。また、事業団WEBサイトだけでなく、さいたま市生涯学習情報システムに文化事業の情報を掲載することで幅広い広報活動を行った。
- 「経費の削減」……………予算執行にあたっては、内容や水準を維持しながら計画的かつ効率的な執行を図り経費の削減に努めた。また、利用者に負担のない範囲で節電を行い、光熱水費の削減に努めた。また、助成金団体への助成金申請を行い自己財源確保を行い、事業経費の削減に努めた。また、フリーペーパーや新聞等へ文化事業等の記事投げ込みを行い、経費の縮減を図った。
- 「適正な管理運営の確保」…利用者に安心してご利用いただける施設を最優先に考え、各種法令等の遵守に努め、修繕の迅速な対応など適正な管理運営に努めた。また、多種多様な研修に参加し、研修で得た知識を職員間で共有することで個人のスキルアップを図り、適正な管理運営の確保に努めた。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:スポーツ文化局文化部文化振興課)

総合評価(B)※A～D

1 項目別の評価

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

- ・利用者数・利用率・稼働率いずれも前年度より増加している。
- ・諸室の概要を記載した案内版を館内に掲示したり、大学の事業への会場提供や子ども向けの事業を行うことで新規利用者の獲得に努めた。
- ・主催事業のチラシ配布や、緑区役所のデジタルサイネージへの掲示など、施設の利用促進に努めている。

(2)「経費の削減」に対する評価

- ・計画的かつ効率的な執行を図り、経費の節減に努めている。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

- ・消防訓練や警察協力のもと不審者対応訓練を行い、日ごろから緊急事態に備えている。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、利用者の目線に立ってニーズの把握を行い、利用者満足度の向上を図るとともに、安心・安全な施設の維持管理に努めること。
修繕について、適宜、適切に実施すること。